

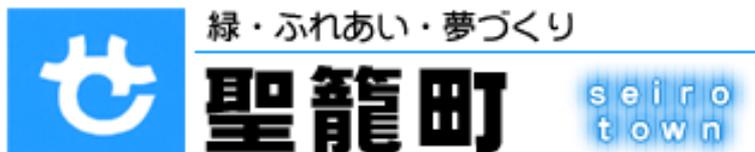
平成24年度活動報告書

会 員 名	新潟県 聖籠町			
活 動 名	聖籠町 海洋レクリエーション拠点施設供用 記念イベント（聖籠海まつり）			
主 催 者	聖籠海まつり実行委員会（聖籠町、NPO法人、民間踊り団体、聖籠町商工会、聖籠町観光協会）			
報 告 者	所属	聖籠町役場 東港振興室	TEL	0254-27-2111(代表)
	氏名	企業係長 藤田 正之	E-mai	<a href="mailto:higasiko@town.seiro.niigata.jp">higasiko@town.seiro.niigata.jp</a>
協議会以外の 共催・後援等	国・県港湾関係機関、新潟港振興協会、聖籠町漁業協同組合、聖籠町教育委員会、本ネットワーク他			
実 施 時 期	平成24年7月21日(土)～22日(日)			
実 施 規 模	約 3,000人			
実施事業費	3,928,029円			
実 施 概 要	活 動 全 般			
	<p>網代浜港湾緑地にて供用を開始した海洋レクリエーション交流拠点施設「聖籠町海のにぎわい館」他を通じ、新たな賑わいの核を創出し、地域内外の交流を促進することにより地域活性化を図るべく、聖籠町やNPO法人、民間団体等で構成する実行委員会を立ち上げ各種イベントを展開した。</p> <p>&lt;イベント内容&gt;（別紙：総会活動支援報告参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「よさこい」を始めとする踊りと生バンドの共演（プロ演舞の他、域内外からの一般参加を募った）</li> <li>○新潟東港と聖籠町の関わりを紹介するパネル展、新潟東港に関わる貨物船等の模型展示等</li> <li>○国土交通省 港湾業務艇「あさひ」による 新潟東港船上見学</li> <li>○新潟東港・聖籠海岸で行われている「海洋レジャー」の紹介や海の生き物触れ合いタッチプール</li> <li>○みなとオアシス聖籠 認定式</li> </ul>			
	他の会員の参考となる新しい試み			
実施にあたり苦労した点 (今後他の会員が実施する上で注意する点)	・地域外からの集客を図るうえで、「核」となるイベントを企画する必要があると、日本海に沈む夕日を前に踊り(よさこい等)を演舞することが出来るよう構成したが、踊る側への視点に対し、見る側の視点での配慮に欠ける面もあった。			
参加者の反響 (参加者の声)	普段見ることが出来ない「みなと(新潟東港)」を船上から見学でき大変有意義であったとの意見の他、日本海に沈む夕日の美しさ・浜風の心地よさ、踊りと音楽のプロの共演に感動の声が寄せられた。			
活動に対するPR内容	別紙：総会活動支援報告参照			
マスコミ等の反響	別紙：総会活動支援報告参照			
実施状況写真	別紙：総会活動支援報告参照			

# 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 活動支援報告

【聖籠町海洋レクリエーション交流拠点施設供用記念イベント】  
～ 聖籠海まつり～

平成24年7月27日

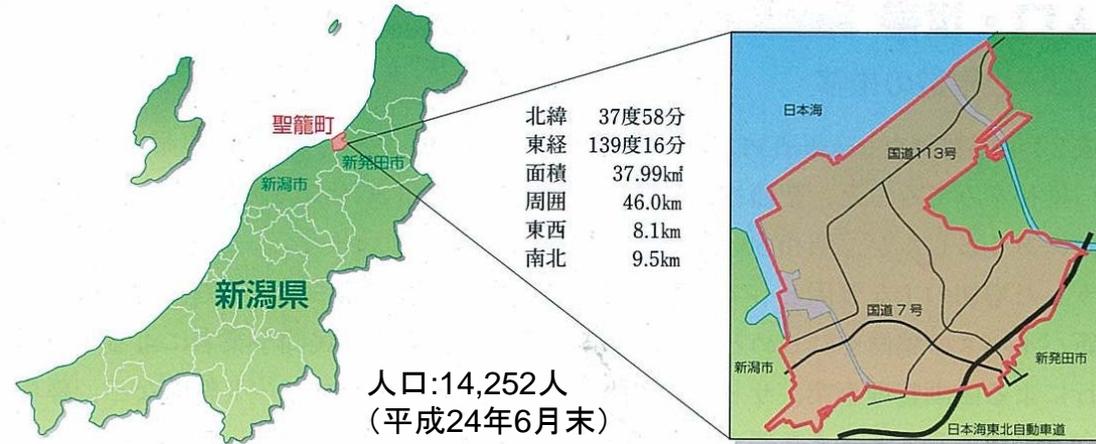


# 新潟港(東港区)と聖籠町

・聖籠町は、国際拠点港湾 新潟港(東港区)中央水路を境界とし、聖籠町・政令都市新潟市と行政区が分かれる。

・新潟東港工業地帯は、聖籠町行政区面積の約25%を占め、製造業などを中心に200社を超える企業が立地。

・農村的雰囲気が残る「農村機能」と工業地帯などによる都市化が進展した「都市機能」が共存する町。



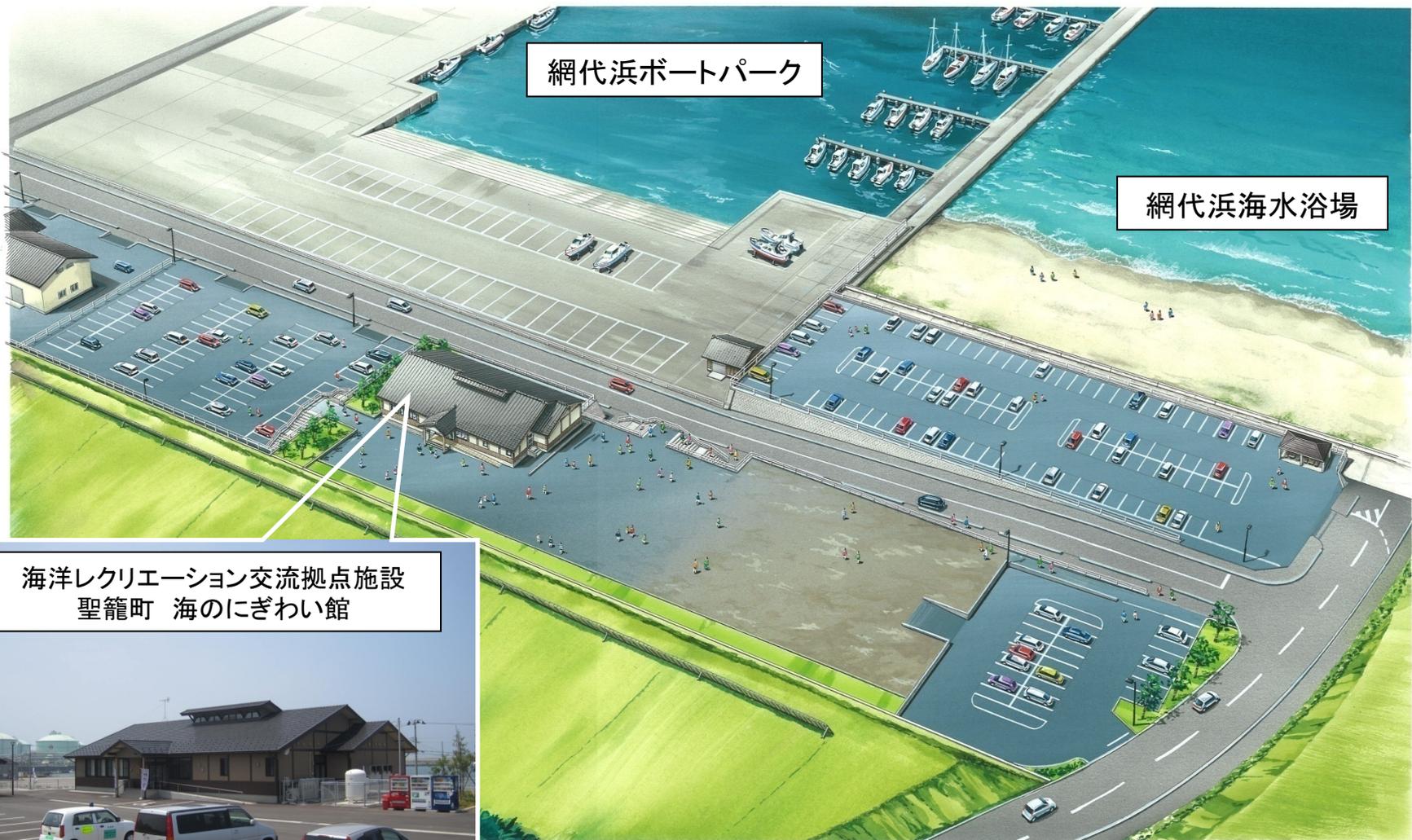


# (港湾緑地) 聖籠町 海洋レクリエーション交流拠点施設

港湾緑地の整備: 社会資本整備総合交付金(みなと振興交付金より移行)を活用

事業主体: 聖籠町

事業期間: 平成20年度～平成23年度



# 記念イベント(聖籠海まつり)の概要

会 員 名	新潟県 聖籠町
活 動 名	聖籠町 海洋レクリエーション拠点施設供用 記念イベント (聖籠海まつり)
主 催 者	聖籠海まつり実行委員会 (聖籠町、NPO法人海レクサポートせいらう、民間踊り団体、聖籠町商工会、聖籠町観光協会)
協議会以外の 共催・後援等	協力:北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所、新潟県 新潟港湾事務所、(社)新潟港振興協会 聖籠町漁業協同組合、須賀IZANAI連 後援:聖籠町教育委員会、聖籠町行政区長会、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク他
実 施 時 期	平成24年7月21日(土) ~ 22日(日)
実 施 規 模	約 3,000人 (集計中)
実施事業費	約4,000,000円 (精算中)
実 施 概 要	活 動 全 般
	網代浜港湾緑地にて供用を開始した海洋レクリエーション交流拠点施設「聖籠町海のにぎわい館」他
	を通じ、新たな賑わいの核を創出し、地域内外の交流を促進することにより地域活性化を図るべく、
	聖籠町やNPO法人、民間団体等で構成する実行委員会を立ち上げ各種イベントを展開した。
	<イベント内容>
	○「よさこい」を始めとする踊りと生バンドの共演 (プロ演舞の他、域内外からの一般参加を募った)
	○新潟東港と聖籠町の関わりを紹介するパネル展、新潟東港に関わる貨物船等の模型展示等
	○国土交通省 港湾業務艇「あさひ」による 新潟東港船上見学
○新潟東港・聖籠海岸で行われている「海洋レジャー」の紹介や海の生き物触れ合いタッチプール	
○みなとオアシス聖籠 認定式	

# 記念イベント(聖籠海まつり)の概要 (イベント配置図)



みなと見学会

リハーサル  
場所

まつり関係者・踊り参加者駐車場

一般来場者駐車場

網代浜海水浴場

一般来場者駐車場

みなと見学会受付

【にぎわい館内イベント】  
みなと紹介コーナー  
海洋レジャー紹介コーナー

ふれあいタッチ水槽

踊り子  
着替え用テント

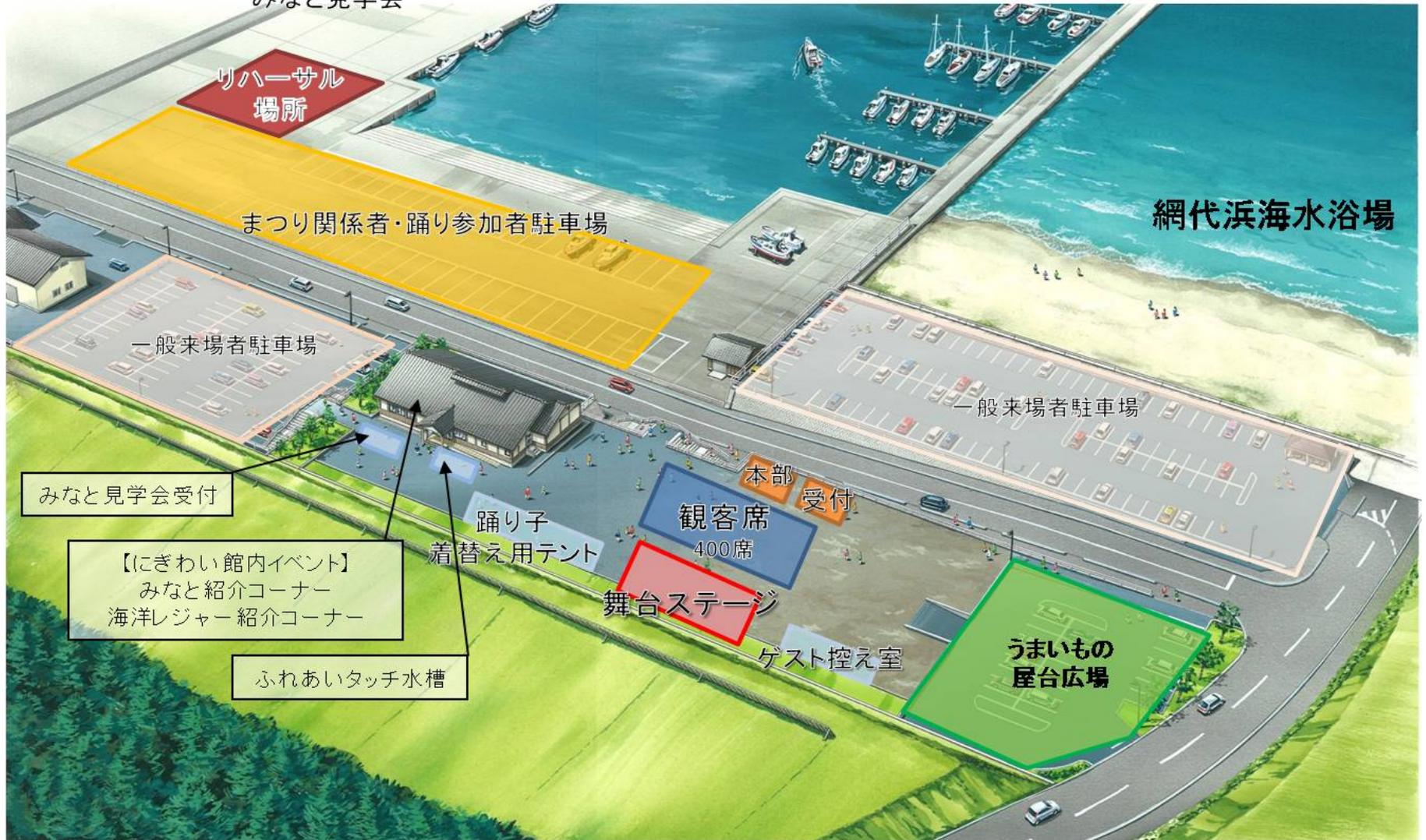
舞台ステージ

観客席  
400席

本部  
受付

ゲスト控え室

うまいもの  
屋台広場



# 記念イベント(聖籠海まつり)実施状況 (その1)

## ①よさこい踊りと生バンドの共演



## ②みなと紹介コーナー(新潟東港等の紹介パネルと船の模型展示)



# 記念イベント(聖籠海まつり)実施状況 (その2)

## ③船上みなと見学



## ④海洋レジャー紹介コーナー(サーフィン・セーリング・魚釣)、海のいきものふれあいコーナー



# 記念イベント(聖籠海まつり)実施状況(その3)、広報活動

## ⑤みなとオアシス聖籠 登録証交付式



## ⑥屋台広場



### ○広報活動

ポスター: 800枚掲示

チラシ: 7,000枚配付

TV局: 民放4社、NHKへ

チラシとポスターを  
配付

FM局: 生放送にて宣伝

新聞社: チラシを投げ込み

各種ホームページ掲載

# 記念イベント(聖籠海まつり)に対するマスコミ反応

新潟日報(朝刊)平成24年7月18日(水)

新潟日報(朝刊)平成24年7月24日(火)

**聖籠 「にぎわい館」で海まつり**

**レジャーと交流の拠点に**

21、22日 本場のよさこいも登場

聖籠町の網代浜海水浴場に、海洋レクリエーション施設「海のにぎわい館」が開館して初の海水浴シーズンに入った。町では21、22の両日、同館を会場に海まつりを開催。網代浜周辺は国土交通省北陸地方整備局が、新潟市に続く県内2カ所目の「みなとオアシス」に認定される予定にもなっており、町は「町内外の人たちの交流を深める場にした」と期待を寄せている。

海のにぎわい館は、2008年度から町が進めてきた港湾緑地整備の一環で建設。約1億5千万円を掛け、今春完成した。シャワー室を完備したほか、海側には夕日も眺められるようにデッキも設けるなど、海水浴客の利用を意識している。同館を地域活性化の拠点しようとする夏、初めてとなる海まつりを企画。町内外の住民らの交流を促すことを目的に「踊りと音楽の祭典」をメインテーマにした。踊



**船、催しに寄せる人波**

**聖籠 海まつりにぎわう**

聖籠町の海洋レクリエーション施設「海のにぎわい館」の海まつりが21、22の両日、網代浜で開かれ、踊りや船上見学など、多彩な催しに、家族連れも大勢参加した。まつりは、今春オープンした夏の海を満喫し、港を紹介したパネルや船の模型を見て楽しむ家族連れ＝22日、聖籠町



「海のにぎわい館」で、町内外の住民らの交流を促すことを目的に、町などでつくる実行委員会が初めて企画した。訪れた親子らは、国交省の港湾業務艇に乗船して新潟東港内を巡ったり、にぎわい館で船のミニチュア模型や港を紹介するパネルを見たりして楽しんだ。特設ステージでは、県内外から約40団体か勢よく踊りを披露し会場を沸かせた。東港内を乗船見学した

阿賀野市の自営業坂井功さん(48)は「風も心地よく、海上から眺める港の景色は、普段見られないのでいいですね」と話した。

また、22日には国交省が港湾施設を使って地域振興に取り組む団体を支援する「みなとオアシス」の登録証交付式が行われた。新潟市に次ぐ2番目の認定を受けた渡辺広吉町長は「今後も人と人を結ぶイベントを仕掛けていきたい」と意気込んでいた。

○民放局1社に於いて「海まつり開催状況」の報道がなされた。

りではよさこい踊りの本場、高知県の須賀連を招いたステージを予定。音楽プロデューサー岡野弘幹さんは、民族音楽と自然音などを融合させた神秘的な曲を披露する。このほか、国交省の港湾業務艇に乗船し、普段見ることのできない東港内を巡る「船上みなと見学」も行われる。海水浴場を含めた網代浜周辺は、国土交通省北陸地方整備局が、新潟市に続く県内2カ所目の「みなとオアシス」に認定される予定にもなっており、町は「町内外の人たちの交流を深める場にした」と期待を寄せている。

また、22日には国交省が港湾施設を使って地域振興に取り組む団体を支援する「みなとオアシス」の登録証交付式が行われた。新潟市に次ぐ2番目の認定を受けた渡辺広吉町長は「今後も人と人を結ぶイベントを仕掛けていきたい」と意気込んでいた。

# みなとオアシス聖籠について

(1) みなとオアシス聖籠 運営主体：聖籠町（平成24年7月22日 認定）

(2) 「みなとオアシス」を活用した地域振興の目的

日本海に面する美しい「みなと・海岸」を活かした賑わい・憩いの場を提供し、各種イベント等の実施と情報発信により地域内外の交流を促進し「地域の活性化」を図る。

(3) 「みなとオアシス」を活用した地域振興の概要

- ・聖籠夏まつり・海まつりや地曳網等の地域イベントへの支援やイベント開催
- ・海洋スポーツ競技大会への支援やイベント開催
- ・釣り大会の開催支援
- ・地域やマリッジ団体などと一体となった海岸清掃
- ・「みなとや海岸、地域の歴史や文化」を紹介するパンフレットを設置するとともにインターネットを活用した情報発信。

(4) みなとオアシス聖籠 構成施設

